

# 防災教室1 (1~4年生)

令和3年10月15日  
講師：上道公民館の皆さん



前列が運動場備蓄庫内、後列が体育館備蓄庫内の備蓄品です。



水もありますが、水道が使えず大勢避難してきた時は十分な量ではないことが分かりました。自分の家からも水を持参しないといけないと思いました。(自助)



ダンボールベッドもいくつかありますが、足りない時は、毛布も使って助け合わないといけません。(公助・共助)

必要な備蓄品の紹介をしてもらいました。  
グミやジャガリコなどのおやつも  
心の安定(安心感)に役立つそうです。



地域の洪水ハザードマップです。



新聞紙を使った簡易スリッパの作り方を教えてもらいました。



全部たくさんリュックに入ると重くて逃げられません。  
前もって、自分に合った物を選んでおくことが大切

# 防災教室2 (5・6年生)

令和3年10月15日

講師：備前県民局河川  
激甚災害対策班の  
皆さん

5校時：体育館で、洪水や土砂災害の仕組み、  
砂川工事の現状



運動場や体育館の中にある備蓄庫内の  
備蓄品を確認して、もっと必要なものは  
何か、避難する時自分で持ってきた方が  
良いものは何かなどについて話し合いました。

これは組立式簡易トイレです。  
去年作ったダンボールトイレもあります。



6校時：教室で、もっと詳しく説明してもらったり、  
質問したりしました。



最後に、みんな備蓄食（非常食）を少しもらいました。  
でも備蓄庫内の物は、数に限りがあるので、自分の  
家でも家族と一緒に避難グッズについて  
話し合いたいと思いました。